⑫　平塚のルーツをたずねて

約 7.1km　　約 2 時間 20 分

総合公園（スタート） —2.4km→ 平塚の塚 —1.2km→ 桜ケ丘公園 —1.5km→ 達上ケ丘公園 —2km→ 総合公園（ゴール）

平塚の塚の伝承

新編相模国風土記稿、或いは当地の伝承によると、桓武天皇三世の孫、高見王の娘である、平真砂子（眞砂子、政子との表記もある）が都より東国へ下向の途上、相模国の海辺の里で長旅の疲れからか急な病を患って亡くなりました。土地の人々は幸薄い都の高貴な姫の死を悼み、遺体を里外れの松の大木の根元に、ねんごろに葬り、塚を築いて弔いました。時を経ていつしかその塚は風化して平たくなり、周辺の地域は「平塚」とよばれるようになったとされています。（「平塚」の地名の由来には諸説ありますが、もっとも有名なものです。）

鏡山お初の墓

「安室貞心信女、明和６年（**1769**）**10** 月 **9** 日」と彫られている浮彫の観世音の墓石が加賀見山旧錦絵という歌舞伎で活躍する「鏡山お初」のモデル、本名「たつ」の墓であると伝えられています。